

2012年1月30日

連携機関：関東化学株式会社

関東化学株式会社
取締役 CSR部長
三好 一生

1. 機関の紹介

関東化学株式会社（以下、当社）は、「お茶の水女子大学ライフワールド・ウォッチセンター（増田研究室）」の連携機関として、2012年度（後期）から新たに「試薬論（生活と産業を支える社会インフラとしての試薬）」を開講します。

当社は1944年設立の総合試薬メーカーとして、試薬・電子材料・臨床検査薬・化成品の4つの分野において品質の高さで強い競争力を持つ製品を供給しています。

当社の経営理念は『我々は未来を考え 新しいものへの挑戦を図り 社会に対し積極的に貢献する』であり、従来からCSR活動にも積極的に取り組んできました。このたびの公開講座についても、その一環として開講させていただくものです。

- 【社名】 関東化学株式会社
- 【本社】 東京都中央区日本橋室町2丁目2番1号
- 【代表者】 代表取締役社長 野澤 学
- 【設立】 昭和19年11月13日
- 【資本金】 30億円
- 【事業内容】 化学薬品の製造販売

2. 科目の紹介

試薬は化学的方法による物質の検出もしくは定量、物質の合成実験などの主として試験研究のために用いられる化学物質です。一般的な認知度は低いですが、日常の生活や産業および経済活動を円滑に実施するための社会基盤の構築を支え、社会のリスク管理のための役割も果たしています。本講では、計量・環境・人の健康・食の安全・産業の発展などを支える試薬の成り立ちから始まり、各分野における試薬の役割についてそれぞれのエキスパートが解説します。

- 【科目 No.】 CT562
- 【科目名】 試薬論（副題：生活と産業を支える社会インフラとしての試薬）
- 【講義日時】 後期の毎週水曜日(2012.10.3～2013.1.23) 18:30～20:30
- 【講義場所】 お茶の水女子大学（教室未定）

3. その他（課題、抱負）

当社にとっては今回が初めての開講となりますが、試薬はあらゆる産業分野に関係しており、広い範囲に関する知見を提供できるものと考えています。本講の受講により、少しでも受講者の皆様のお役に立つことができれば幸いです。また、この講座を通じて試薬の役割や試薬業界に関する理解が少しでも広まることを期待しています。

以上